

呼和浩特市派遣感想文

愛知県立岡崎北高等学校 2年 橋本苗季

開幕式

開幕式では、まず呼和浩特市の学生が出迎えてくれて、それから出し物をしてくれました。武術と水鼓です。水鼓を見るのは初めてで、圧倒されました。

そのあとは、各国の学生による出し物がありましたロシアは伝統的な踊り、モンゴルは馬頭琴の演奏、空手をしていました。ほかの国の伝統を知ることができてとても楽しかったです。日本は歌を歌っただけだったので次からは、浴衣を着るなど日本にあるたくさんの伝統的な文化を少しでも伝えられればいいと思いました。

教育施設の訪問

呼和浩特市の学校の施設の見学をしました。地理室には、小さなプラネタリウムのようなものがあってうらやましかったです。また、地震に対する建物の強度を見ることができる機械があつておもしろいなと思いました。

ホームビジット

私のホームビジット先は史依宸（シーイーチェン）さんのお宅でした。ホストファミリーは四大家族で、みんな明るくてとても面白い人たちでした。ホームビジットで最初にびっくりしたことは、お土産は“もらった人”のものになることです。お菓子と雑貨を家族用に、そこそこ多く持って行ったので、一人だととても多いと思いました。



ホストファミリーと

ショッピングセンターでは、日本と中国の文化の違いをたくさん見つけることができました。そのなかで最も驚いたことは、食べ残したものを持ち帰ることができるということです。持ち帰るための袋まで店に用意されていてびっくりしました。また、中国は調味料が豊富でした。鍋や焼き肉のたれは自分で好きな油や香辛料を選んで好きなたれを作ることができました。香辛料のほとんどは辛いものでした。

そして、中国には昼寝の文化があることにもびっくりしました。最初は、疲れているから休んでもいいよと気を使われているのかと思っていたら、家族全員が昼寝をしていました。私も一時間くらい昼寝をしました。

それから、お茶を買いにコンビニに行きました。見たことないものがほとんどだったけれど、日本で売っているグミやチョコレートがありました。だけど、パッケージの表記はほとんどが中国語になっていたのが面白かったです。

午後は、他のホストファミリーたちと一緒に大召寺（Dazhao Temple）という伝統的な寺院に行きました。カラフルな布で塔が飾ってあって、規模もとても大きくきれいでした。さらに、大召寺では、お坊さんが共同生活を送っているようで、たくさんのお坊さんの生活の様子を見ることができたのは、日本とは違うなと思いました。

そのあとに行った商店街では、見たことのないたくさんの種類の屋台があって面白かったです。ホストファミリーがいろいろ食べさせてくれました。私は鴨の腸を焼いたものが一番おいしいと思いました。

草原体験

草原体験は今回一番楽しみにしていました。草原は、広くてとてもきれいでした。しかし、激しい雨でほとんどの予定つぶれてしまいました。

モンゴル族の伝統的な住居であるパオにはもともと興味がありました。遊牧民が使っているパオは、羊の毛でできたフェルトで覆われていて、移動できる組み立て式の建物です。しかし、私が泊まったパオは、コンクリートでできており移動ができないものでした。電気も水道も通っていました。いわゆる観光客向けのパオです。



伝統的な住居・パオ

それでも、遊牧民の生活を少しでも体験できたのはとてもうれしいです。

料理は見たことのないものがほとんどだったけれど、おいしいものもあってよかったです。ラム肉を食べたのは今回が初めてだったけど、癖もあまりなくておいしかったです。

中国はいいところ

正直、今回呼和浩特に行くまでは、中国にはあまりいいイメージを持っていませんでした。だけど、実際に行ってみるととてもいいところだということが分かりました。私は、中国人は騒がしくマナーが悪いと、聞いた事があったしそうだと思っていました。だけど実際は、たくさん話してくれて、面白くて、とても親切で、思いやりのある人たちでした。私が寒そうにしていただけで、上着を貸してくれるような人もいて、日本と同じくらい、優しい人たちだと思いました。

他の国の学生との交流

私は、外国の方と話したことがほとんどなく、言いたいことが伝わるか、相手の言っていることが理解できるかがとても心配でした。だけど、どの国の人もフレンドリーで、私もだんだん英語で話すことに慣れていきました。



他国の学生との食事

今回の交流を通して、コミュニケーションをとるのに一番大切なのは積極性だと思いました。コミュニケーションをとるためには、あまり文法は大切ではないということです。文法が間違っているでも言いたいことは伝わるし、単語だけでも話すことができました。

全体を通して

このサマーキャンプでは、驚きの連続でした。ほとんど海外に行ったことのない私にとっては、すべてが新鮮でした。この経験をきっかけに、これから積極的に外国の方との交流をしていけるようにしたいです。

そして、今回のサマーキャンプでは、いくつか不便なことがありました。それによって、改めて分かった岡崎のいいところを、たくさんの人に知ってもらえるようにしたいです。